

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	主要地方道豊田明智線 <small style="font-size: small;">とよたあけち</small>					
事業箇所	豊田市藤沢町 <small style="font-size: small;">ふじさわちょう</small>					
事業のあらまし	<p>主要地方道豊田明智線は、愛知県豊田市から岐阜県恵那市に至る延長 38km の路線であり、豊田市街地と旭地区を結び地域の暮らしを支える重要な幹線道路である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられており、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間は線形不良な 1 車線道路となっており、幅員狭隘で車のすれ違いも困難であり、円滑な交通の妨げとなっている。</p> <p>このため、自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化を主な目的として、主要地方道豊田明智線の現道の拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間・離島対策（自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上）</p> <p>(2) 地震・津波対策（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	6.5 億円	■工事費 3.5 億円、■用補費 2.7 億円、■その他 0.3 億円				
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2022 年度	完成予定年度	2026 年度
事業内容	現道拡幅（延長：0.7km、車線数：2 車線、幅員：9.25m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 山間・離島対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市街地と旭地区を結ぶ重要な幹線道路であるものの、線形不良な 1 車線道路となっており、幅員狭隘で車のすれ違いも困難であることから、自動車の安全性や走行性に課題があり、本事業の必要性が高い。 <p>(2) 地震・津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線に位置付けられていることから、当該区間の拡幅による緊急輸送道路ネットワークの強化が必要である。 				
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化のため、事業実施の必要性がある。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">4.9</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> </tr> </tbody> </table>								2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種区分	調査・設計	←→					/	用地補償	←→	→				工事		←→	←→	←→	←→	・土工		←→	←→	←→	←→	・擁壁工			←→	←→	←→	・舗装工					←→	事業費（億円）		4.9				1.6	6.5
			2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																					
	工種区分	調査・設計	←→					/																																																					
		用地補償	←→	→																																																									
工事			←→	←→	←→	←→																																																							
・土工			←→	←→	←→	←→																																																							
・擁壁工				←→	←→	←→																																																							
・舗装工						←→																																																							
事業費（億円）		4.9				1.6	6.5																																																						
2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治区長等で構成された「安全で快適な道路をめざす会」より早期整備の要望を受けている。 ・近隣の住民に対して、事業内容を説明し、地元の合意形成を図っている。 																																																												
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																											
	【理由】	・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。																																																											
III 対応方針（案）																																																													
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①、②の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																												
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																													
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度																																																													